

平成30年度 第1回 習志野市いじめ問題対策連絡協議会 議事録

1 日 時

平成30年7月23日(月) 15時～17時

2 開催場所

習志野市役所3階 大会議室

3 出席者氏名

出席委員:植松榮人委員(会長)、宮本泰介委員(副会長)、相原和幸委員、鈴木竜也委員、
(22名) 五木田文孝委員、高橋君枝委員、海寶嘉胤委員、増田美代子委員、
央 重則委員、廣瀬 博委員、松濱幸子委員、五十嵐久仁委員、佐々木秀一委員、
植草洋子委員 加川美奈子委員、太田 忠委員、岩田 寛委員、小西 薫委員、
富所 緑委員、菅原 優委員、小澤由香委員、櫻井健之委員(敬称略)

欠席委員:久保秀一委員、中台雅之委員、吉田勝幸委員(敬称略)
(3名)

出席職員:天田学校教育部長、荒井指導課長、渡辺指導主事、近藤指導主事、
毛塚指導主事

傍 聴 者 : 0名

4 協議会内容

開会

会長挨拶

副会長挨拶

① 会議録の作成と署名委員について

② 議事

【報告1】 習志野市いじめアンケート1学期の結果について

【報告2】 習志野市小中学校いじめ防止の児童生徒の取り組み

③ その他

(1)「みんなで考える情報モラルとコミュニケーション」について

講師 LINE株式会社 高橋 誠 氏

(2)協議会委員より

閉会

5 議事録(要点筆記)

開会

教育長より、協議会の目的や、会長、副会長は教育長、市長をもってあてることについて伝える。

会長(教育長)あいさつ

会長

平成30年度の1学期の教育活動が終了し、夏休み3日目である。夏休み中は、学校は子供たちに目が届きにくくなるので、地域で見えていただき、何かあったら御連絡いただくようお願いしたい。地域で朝6時半よりラジオ体操を開催していただいていることも、大変ありがたい。本協議会は、1学期いじめアンケートの結果と学校でのいじめ防止の取組、そして講演という内容で進めていくので、よろしくお願ひしたい。

副会長(市長)あいさつ

副会長

今日は、「LINE」の高橋講師に来ていただき、ありがたく感じている。実のある講演になることを期待している。皆様からも、忌憚のない御意見を頂戴したいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

会長

25名中22名の出席で協議会が成立していることを伝える。

本会議は原則として公開としており、会議の傍聴については許可をしているので御了承願う。

会議録については、「習志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針」に基づき、会議録を作成する。会議録署名人には五木田委員と高橋委員を指名したいが異議はないか。異議がないようなので、両委員にお願ひする。

議事

会長

報告1、及び2について、事務局より報告を求める。

事務局

はじめに、本日の流れと、いじめ問題対策連絡協議会の位置づけについて説明させていただく。その後、1学期いじめアンケートの結果と、小中学校のいじめ防止の取組について報告する。(以下、資料に沿って報告)

会長

委員の御意見は、講演が終わった後に受けることとし、引き続き講演をお願いします。

高橋氏(LINE株式会社)

「みんなで考える情報モラルとコミュニケーション」(以下主な内容)

- ・インターネット利用で起こるトラブルの例
- ・スマホの設定について
- ・自律を目指したルールの工夫
- ・文字としてのコメントに対する感覚のずれについて(含 委員の意見交換)
- ・他の自治体における取組 等

会長

報告事項の1と2、また講演があったが、委員の皆様から御意見や報告等があればお願いしたい。

委員

いじめの相談をした、しないとの報告があったが、相談して解決したとか、相談したけれど解決していないとか、そうしたフォローアップはしているのか伺う。

事務局

記名式アンケートの後、無記名式のアンケートではいじめの認知数が減っていることから、担任との相談によって、いじめは解決に向かっていると捉えている。

委員

相談したことで良い方向に向かったのか、根深いもので解決に至っていないのか、そういうことは把握できているのか伺う。

事務局

いじめアンケートでは毎年、毎学期報告された全体の数値として把握しており、いじめを受けた子がその後どうなっているかといった視点では捉えられていない。御指摘の通り、個々のいじめを追って見ていくことも必要なので、そのためにはどんな調査ができるか検討したい。

会長

解消したか、してないか、各学校ではつかんでいる。解消していないいじめに対しては、継続して対応している。

委員

いじめ問題に対応することも大事だが、子どもの自立心を育て社会に順応できる準備をすることが重要と考える。

委員

自分でも LINE を一度は入れたが、他へ繋がってしまうことから消したことがある。LINE の良い面、悪い面をしっかりと理解しながら活用を考えていきたい。

委員

育児をしたのはだいぶ前のことで、今は状況がずいぶん変わった。孫たちが育っていくので、今日のお話を参考とさせていただきたい。

委員

先日の「社会を明るくする運動」では、多くの方から良かったという感想をいただいている。皆様にお礼を申し上げたい。私の地区でも、ラジオ体操を熱心にしてくださる方がいて、夏休みの良い習慣づくりに貢献している。今の子はネットでやりとりして、実際に遠くまで行ってしまふ子がおり、私には信じられないようなことが起きている。私自身もスマホの正しい使い方を勉強していかなければならないと感じるし、必ずしもダメではなくて、どう活用するかが大切だということ今日学んだ。

委員

今日は盛りだくさんの内容であった。いじめの集計データは見やすく良かった。いじめ問題にゴールは無く内容も千差万別であるが、先ほどの委員の指摘も含めて、教育委員会で対応していただけるものと考えている。一つわかったのは、子供たちの様子を見て、「おかしいな」と気付くことが、いじめ防止のスタートであるということ。家庭内の子供もそうであるし、学校でも、登校中でも、この気付くということが大切なのだとわかった。

委員

私も SNS は使っていないのだが、今日は少し様子が分かった。テレビでニュースの感想がリアルタイムにテロップで流れているのを見ると、あまりにも意見に違いが大きいので、これは「判断力が必要だ」といつも感じている。

委員

人の会話には、目や顔つきが加味されて判断されているものだが、SNSにはそれがない。しかし今日の講話で、そこにはいろいろなものが隠されているということが理解できた。高橋講師には今後とも研究をお願いしたい。

委員

講話の中で勉強することがたくさんあった。LINE も家族で活用させていただいている。法務局の取り組みの一つとして、「SOS ミニレター」というもので小中学生のいじめに対応している。学校の先生には相談しにくいという子供も結構いて、手紙を送ってくるものだが、緊急性を要する場合には関係機関と連携して対応している。

委員

今日の講話では気付いたことがあり、勉強となったので感謝している。学校のいじめを生まない心の教育のために「道徳教育の充実」というものがあったが、小中学校だけでなく、

幼児の道徳教育も大切だと考える。一貫した教育をお願いしたい。

委員

家族などでLINEを有効活用させてもらっている。便利なものだが、子供たちの使用には落とし穴のようなこともあると感じた。仕事では小さな子供を持つ母親と接している。家族のコミュニケーションということも話しているのだが、今日の講話を、そこで役立たせていきたいと感じた。

委員

LINEでは「知識」より「意識」、というのは、その通りだと感じた。それは子供たちの教育全般に言えることでもあると思う。いじめのアンケートについては、集計の負担軽減について、去年提言したことをすぐに形にさせていただいたので感謝したい。

委員

大人同士のコミュニケーションから、統一感がなくばらばらになっている気がしている。社内でも一斉通達ではメールを使うが、意見や感想が絡むものになると、見る人によって感覚が違う。正しく伝えようとする、メールの文が長くなる。そうすると、チェックが面倒になるという悪循環がある。メールに電話一本加えるだけで変わったりする。うまいコミュニケーションのあり方を考えていきたい。

委員

今日の報告やお話で、基本となるのは親子の対話、先生方との対話が大切だと思う。いじめも親が先走ってしまうこともあるが、子供がどう感じているかなので、対話を大事にさせたい。LINEを使うときにも、相手とのコミュニケーションが基本と感じる。

委員

たまにLINEも利用しているが、文書を打つことが億劫になっている。こういったものを使うには、自分なりに工夫しなければと思っている。

委員

スマホの普及により、私たちの見えないところで子供たちの人間関係がある現実がある。だが、皆さんが指摘しているように子供の変化に気付くことが一番重要。子供の様子を見て、目を見て、感じて支援していくような教員を育てていきたいし、それができる学校現場でありたいと思う。

会長

本日の内容について、それぞれの団体で話していただけたらありがたい。まず今は子供たちに夏休みを充実して過ごしてほしいと願っている、各団体で気付いたことがあれば連絡をお願いしたい。いじめについても委員会としてしっかり対応していきたいので、引き続き御協力をお願いしたい。

副会長

今、習志野からタスカルーサに交換留学生が行っているが、インターネット回線を用いた無料国際通話もできるLINEが便利だという感想を聞いている。また、私自信も発言する時に慎重にしなければならない時にはSNSを活用する時がある。端的にまとめて発信したい等の際に、SNSは優れたツールとなると感じている。今日の講話は内容の濃い、いろいろなことを考えさせられる時間となったと思う。それぞれの団体に生かしていただきたい。

会長

事務局から連絡があれば願います。

事務局

第2回目は、12月25日(火)15時より予定している。

閉会

会長

以上をもって平成30年度第1回習志野市いじめ問題対策連絡協議会会長を終了とする。

6 所管課名

教育委員会学校教育部 指導課

電話番号 047-451-1132

FAX 番号 047-452-0771

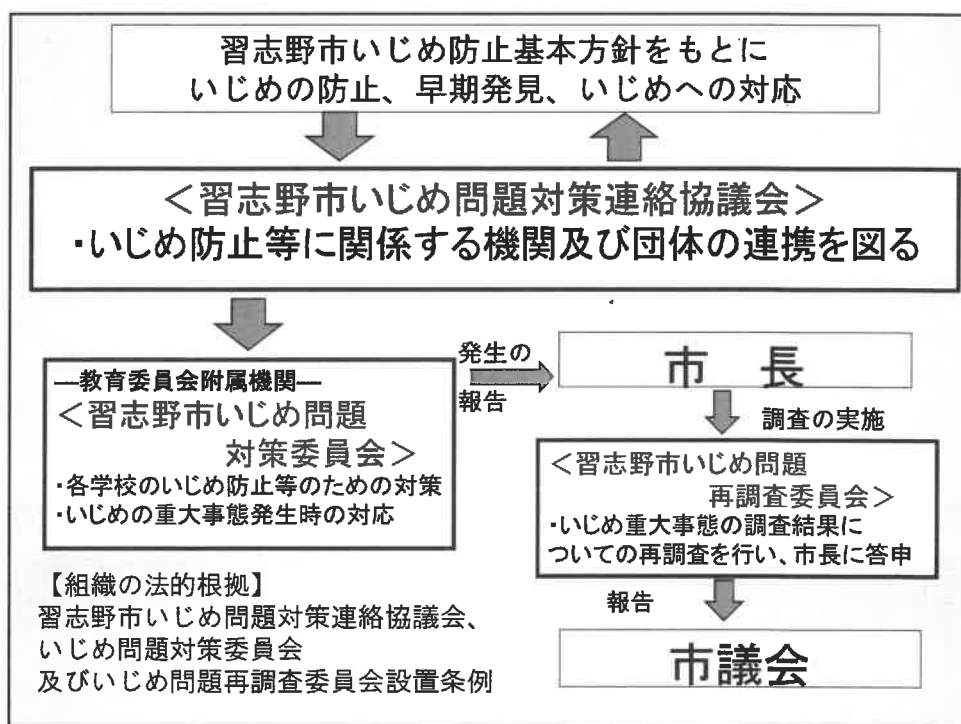
平成30年度 第1回

習志野市いじめ問題対策連絡協議会

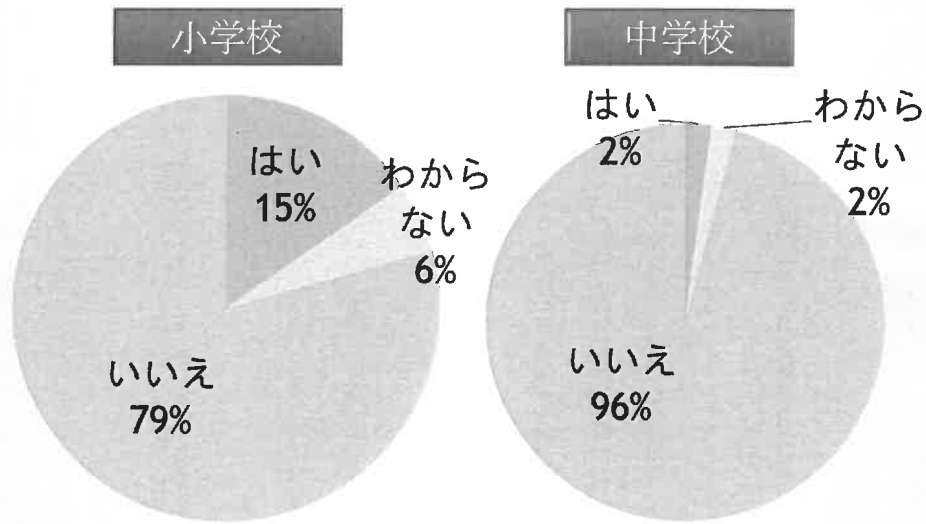
いじめ問題対策連絡協議会について
報告1 習志野市のいじめ問題の現状
報告2 市立小中学校の取り組み



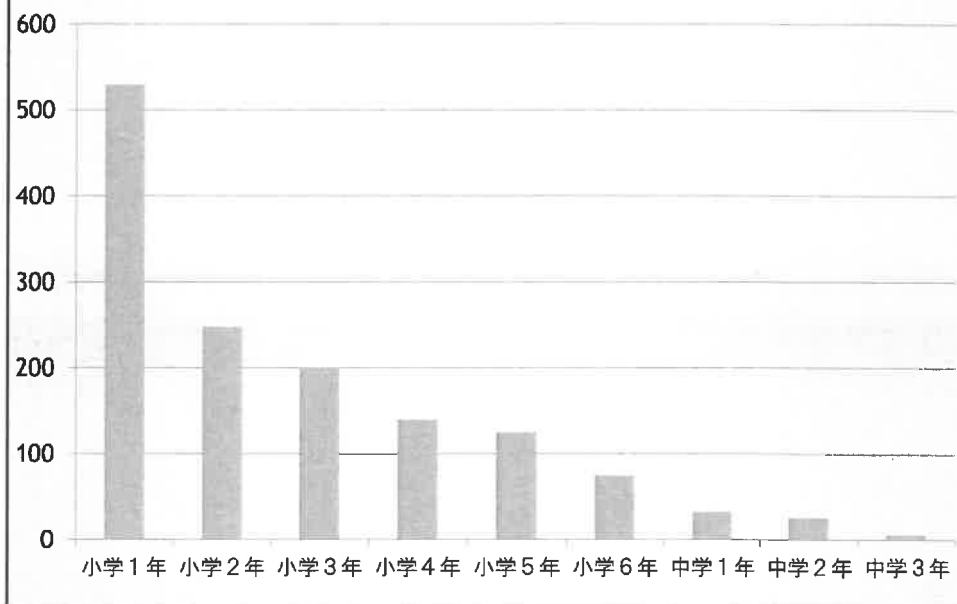
平成30年7月23日 習志野市教育委員会



「いじめられたか」

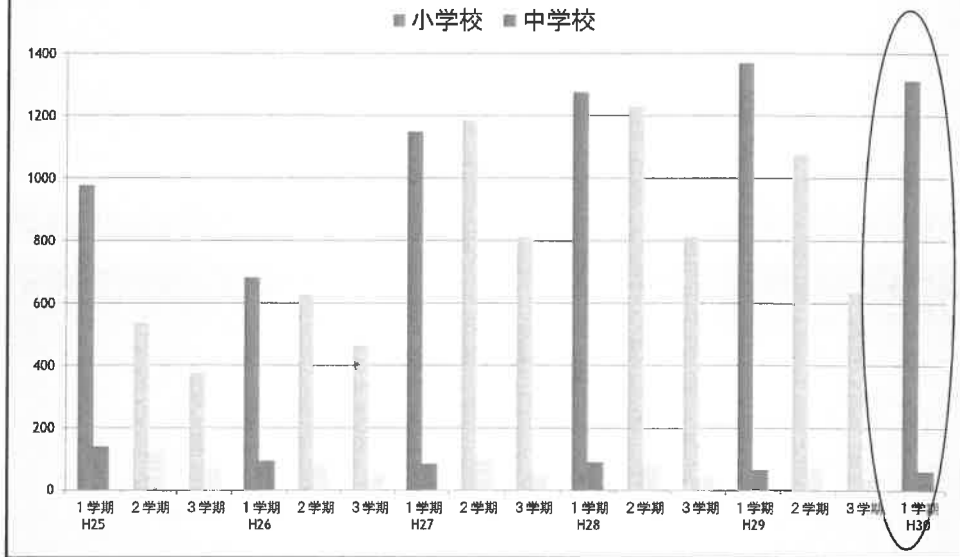


学年毎の認知件数



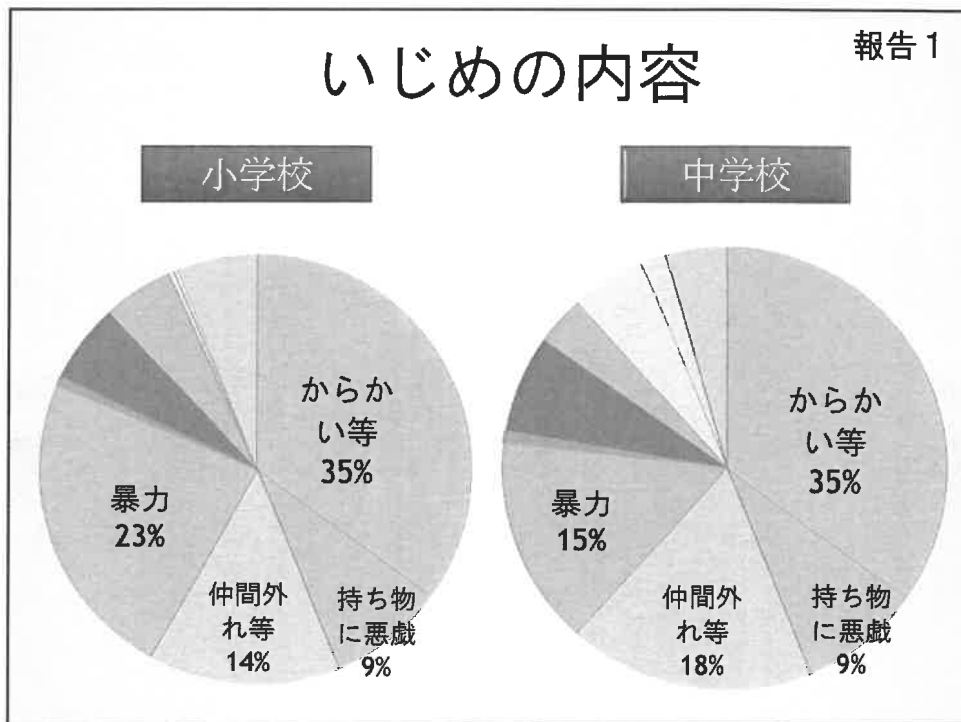
いじめ認知数 学期毎の変化

報告 1



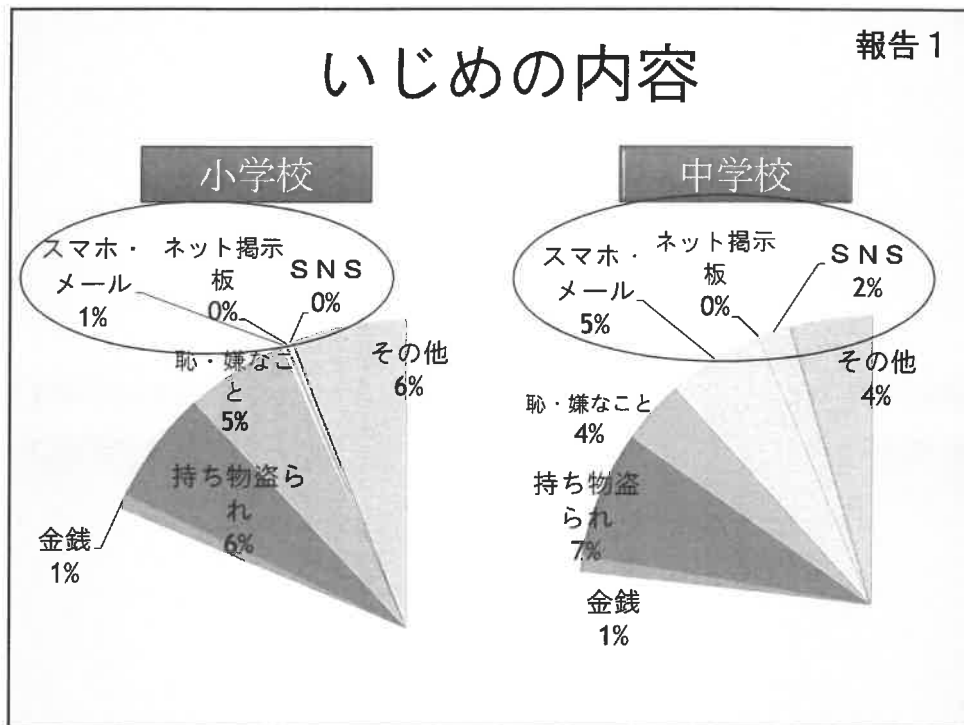
いじめの内容

報告 1



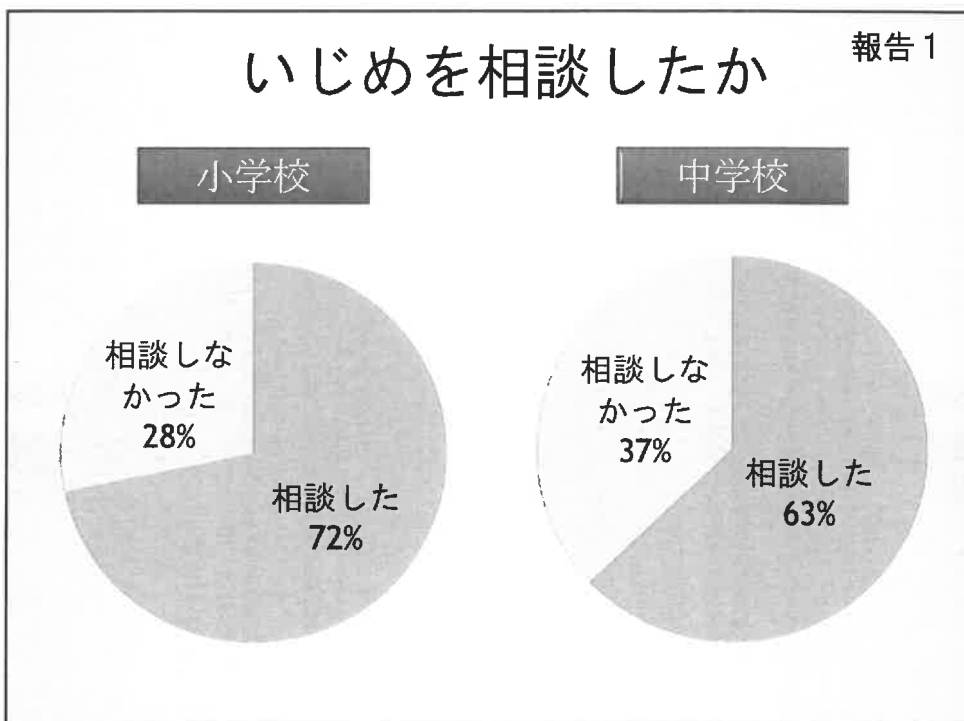
いじめの内容

報告 1



いじめを相談したか

報告 1

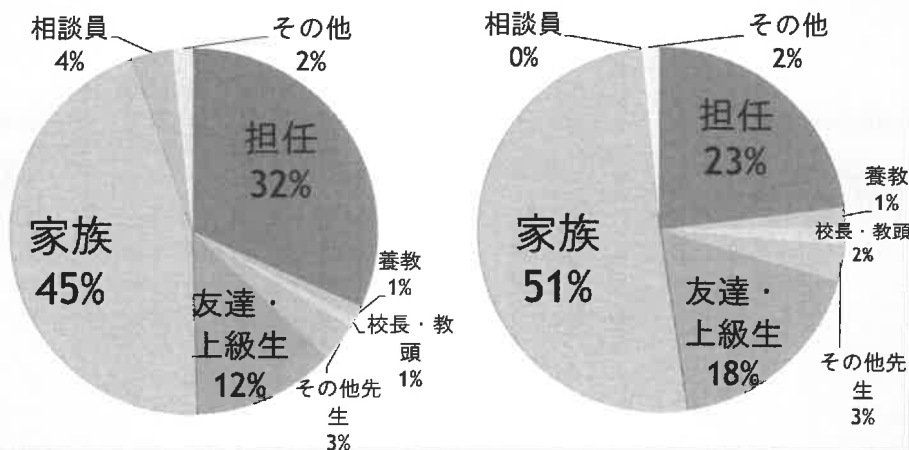


相談した相手

報告 1

小学校

中学校



「なぜ相談しなかったか」

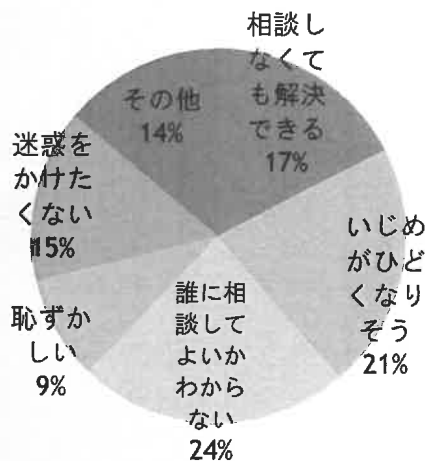
報告 1

想定した選択肢

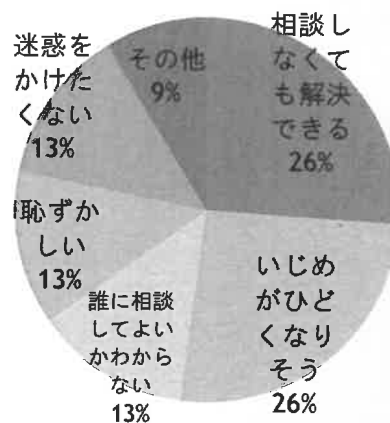
- 「相談しなくても、解決できると考えたから」
- 「相談すると、よりいじめがひどくなりそうだから」
- 「誰に相談したらよいかわからなかったから」
- 「相談することが恥ずかしいから」
- 「相談する相手に迷惑や心配をかけたくなかったから」

なぜ相談しなかったか → 相談しない、できない理由は多様

小学校



中学校



「相談しなかった」その他の理由

小学校

- ・ いじめた人に迷惑をかけたくなかった
- ・ 友達がいなくなるから
- ・ 言っても聞いてくれなさそう

中学校

- ・ 嫌がらせをしてくる人がめんどくさいし、興味がない
- ・ 相談する暇がない

いじめアンケートからわかること 報告1

- 年齢が上がるにつれ、いじめの訴えは減るが、個々の問題は深刻となる。
- 年代が上がるにつれ、いじめが発生する範囲は広がる。SNSなどのネットの中のいじめも、今後対応を強化していくべき課題となる。
- からかいを初めとするいじめに対し、道徳教育を核とした、子どもの感性を育てる教育が肝要となる。
- いじめを相談しない理由は様々であり、子どもの成長や思いに応じた対応が必要である。

報告2

いじめ未然防止のための

* 習志野市小中学校の取り組み

小学校

思いやりの心を育む

報告2

異学年との交流、縦わり活動



1年生を
迎える会



なかよし集会



手つなぎ遠足



縦わり清掃

小学校

いじめをにくみ、思いやりを育てる

報告2

*環境づくり、雰囲気づくり

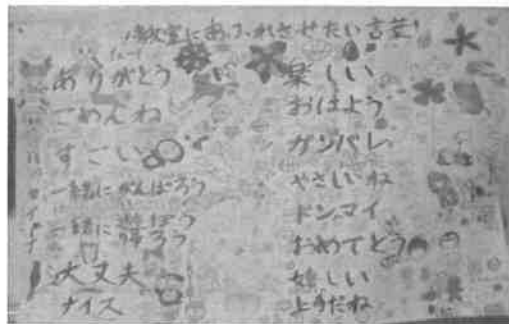


標語づくり

スローガン

その言葉人を傷つけていませんか。

教室にあふれさせたい言葉



小学校

報告 2

教員の連携、教育活動の工夫

* 全職員で、全教育活動で、いじめ防止

生活アンケート



全校集会の講話



あいさつ運動

命の授業



中学校

報告 2

生徒を主体とした

* 集会活動、キャンペーン活動



イエローリボン



中学校

生徒を主体とした

報告 2

* 集会活動、キャンペーン活動

ハートフル活動



生徒集会 いじめ撲滅劇



犯罪被害者の会の方の講話



いじめを生まない心の育成

報告 2

小・中学校

道徳教育の充実



「S Q S 集計システム」の導入

学校のいじめ集計に係る負担軽減を図って



★マークのしかた



年 組 (男・女) 氏名 ()

★以下の質問を読んで、あてはまる欄(らん)にしっかりとマークしてください。

(1) あなたは、3月から今日までに、いじめられたことはありますか。

ある わからない ない

※「ある」と答えた人は(3)へ、「ない」と答えた人は(10)へと選んでください。

(2) (1)で「わからない」と答えた人に質問します。なぜ「わからない」を選びましたか。

※(10)へと選んでください。

(3) (1)で「ある」と答えた人に質問します。いつごろからいじめられていますか。

3月 春休み 始業式から今日まで